

提出 順番	No. 4	令和 3 年 2 月 25 日 午前・ 午後 4 時 30 分受領
----------	----------	---

令和 3 年 2 月 25 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 酒井 はやみ 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>待機児童を早期に解消し、すべての子どもの居場所確保を</p>	<p>町内の認可保育園の入所を希望しながら入所許可が下りなかった待機児童がここ2年連続で9人、12人（いずれも年度始めの時点）と発生し、保護者から大きな失望と不安、なぜ解消できないのかとの疑問の声が上がっています。子どもを産み育てていくうえで、社会生活のスタートとなる保育所の入所でつまづくことは絶対にあってはならないことです。何より子どもたちが安心して成長発達できる居場所が保障されないということであり、保護者にとってはそれぞれの仕事を続けられるかどうかにも関わる、人生設計が大きく狂いかねないものです。また入所できないことで働くことが制限され、家計の収入にも影響を与えます。</p> <p>そして今や待機児童の問題は、多くのケースで女性が家庭で育児することを強いられ、そのキャリアや収入が制限されるという、ジェンダーの問題とも結びついて議論され始めています。</p> <p>幕別町が、子どもの医療費助成の拡充や住宅支援、修学旅行費の助成など、子育て支援に力を入れてきたことで、多くの子育て世代がこの町を選んで子育てしています。すべての子どもたちに居場所を保障し、保護者が安心して子育てできる環境にするために、待機児童の早期解消がもとめられます。そのために何が必要か、知恵と総力をあげて対策を具体化する必要があると考え、次の点を伺います。</p>

1 待機児童の実態

- ① 今年度現時点で、入所を希望しながら入所できていない児童の年齢別の人数と、それぞれの現状は
- ② 来年度の入所申請数、入所見込み数及び待機児童の発生の可能性は

2 待機児童を生まないために

- ① 年齢ごとの待機児童を解消するために必要な保育士の人数は
- ② 待機児童に対応できる施設面積はあるか
- ③ 町の事業計画の、「教育・保育事業の量の見込みと保育の内容」を地域を細分化したものに見直すべきでは

3 町立認可保育所の保育士を確保するために

- ① 確保できない原因をどう分析しているか。
- ② 保育士が働きやすい環境に改善するために、正職員の定数増に踏み切る考えは

4 保護者への丁寧な対応として、保育園の空き情報の公開や、待機児童の後追いなど、改善はすすめられているか

5 格差を生まない保育行政を

- ① 保育士の研修の機会はどれだけ保障されているか
- ② 保育園が保護者に毎月の保育料以外の費用負担を求めることはあるのか

6 より豊かな保育・幼児教育のために、国に十分な財源確保などを求める考えは